

令和5年度 第4回地域密着型運営推進会議 進行次第

開催日 令和 5年12月20日（水）
時 間 17：30～
場 所 在宅老人デイサービスセンター

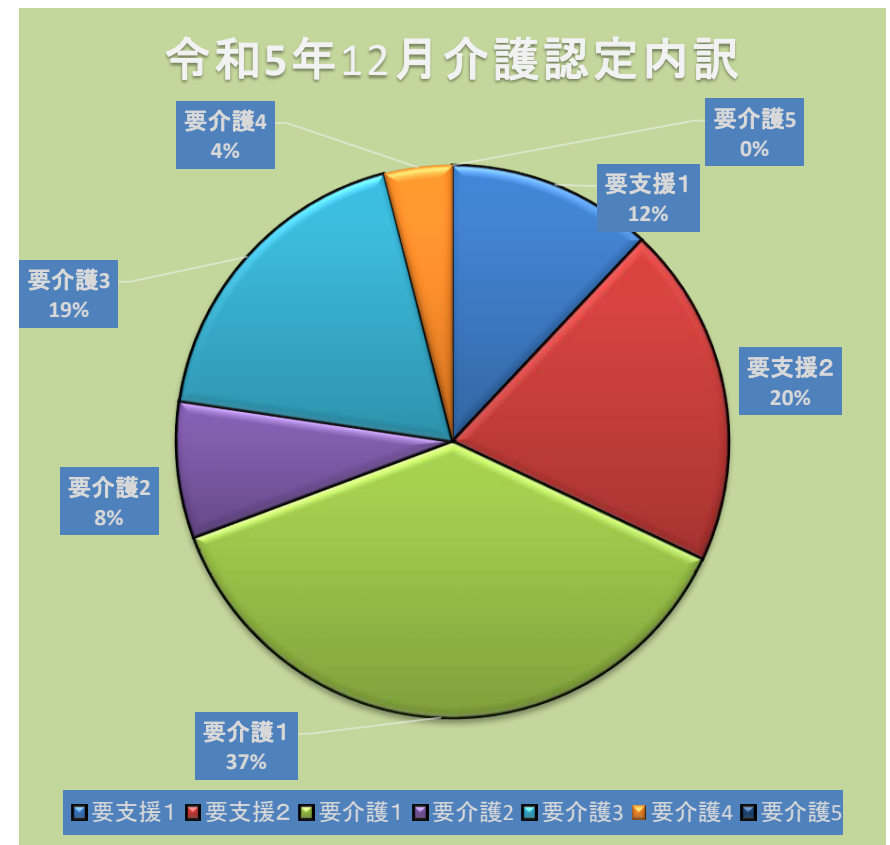
1. 開会

2. 議事

- （1）地域密着型利用状況報告について
 - ・別紙資料参照
- （2）施設活動報告
 - ・入所待機者数変動状況報告
 - ・介護施設の課題
- （3）その他のご意見・ご要望等について

令和 5年11月～12月 デイサービス 曜日別登録者数

		月		火		水		木		金		総計
		男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
11月	介護認定	4	15	3	11	4	9	3	15	3	10	77
	(介護)1日現在曜日別利用者数	19		14		13		18		13		
	身障									1		
12月	介護認定	4	14	3	9	5	11	3	14	3	9	75
	(介護)1日現在曜日別利用者数	18		12		16		17		12		
	身障									1		
	介護認定											0
	(介護)1日現在曜日別利用者数	0		0		0		0		0		
	身障											
	介護認定											0
	(介護)1日現在曜日別利用者数	0		0		0		0		0		
	身障											
12月介護認定内訳	要支援1		1		1		3		3		1	9
	要支援2		4		4		0		4		3	15
	要介護1		7		4		7		7		3	28
	要介護2		0		1		3		0		2	6
	要介護3		5		1		3		2		3	14
	要介護4		1		1		0		1		0	3
	要介護5		0		0		0		0		0	0
	計	18		12		16		17		12		75



10月 男性Aさん 新規利用開始 リハ希望 通所リハからの異動
 女性Aさん 新規利用開始 リハ希望 通所リハからの異動
 男性Bさん 新規利用開始 一般
 男性Cさん 新規利用開始 一般
 男性Dさん 長期入院のため利用終了
 女性Bさん 新規利用開始 一般

11月 男性Aさん 新規利用開始 リハ希望 通所リハからの異動 ※曜日変更の方や週に複数回利用の方もいるため、利用開始、終了の人数と総計は合致しない場合があります。
 女性Aさん 新規利用開始 一般

女性Bさん 施設入所のため利用終了
男性Bさん 新規利用開始 一般

地域密着型特別養護老人ホーム要介護度別入所者数

R5年10月

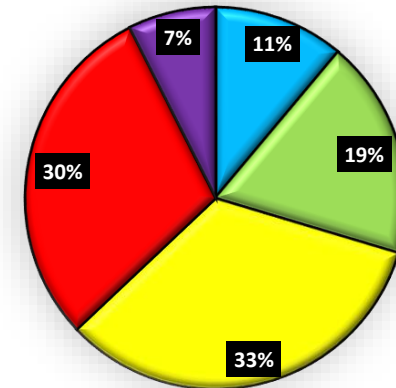
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	3	5	9	8	2	27

平均介護度 3.04

入所 1名 女性1名

退所 2名 男性1名、女性1名

要介護度入所者数 10月



■要介護1 ■要介護2 ■要介護3 ■要介護4 ■要介護5

R5年11月

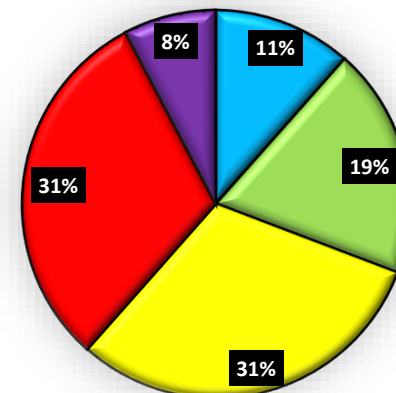
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
砂川市	3	5	8	8	2	26

平均介護度 3.04

入所 0名

退所 1名 女性1名

要介護度入所者数 11月



■要介護1 ■要介護2 ■要介護3 ■要介護4 ■要介護5

12月時点の地域密着型入居者待機人数は、47名
男性:16名
女性:31名

令和 5 年度第 4 回
地域密着型介護老人福祉施設
運営推進会議

報告内容

- ・入所待機者数変動状況報告
- ・介護施設の課題

入所待機者数変動状況報告

12月までの 変動状況

12月の入所判定会議前に待機者の状況確認を行ったところ、17名の申し込み取り下げがありました。主な理由は右記となっています。

申し込み取り下げの理由

- ・死 亡
- ・長期療養が必要
- ・すでに施設入所した
- ・環境変化に耐えられない
- ・まだ、いいかな



現在の申し込み 傾向と介護度について

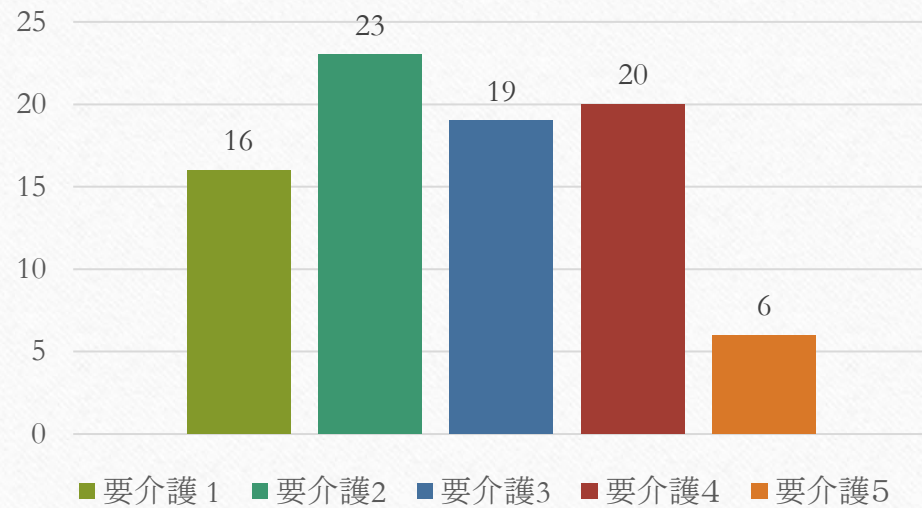
続きまして現在までの待機者の介護度傾向と申し込みに至った経緯を報告させていただきます。待機者の介護度傾向としては、介護度1～2の方が多く、傾向割合としては、介護度2がもっとも多く、次いで1、3の順番になっています。介護度4・5の申し込みはここ数年で激減しています。

主な申し込み理由

- ・在宅で転んで骨折し自宅復帰できなくなった。
- ・老健に入所していたが、今後の方向性で特養に申し込む必要があった。
- ・サ高住、有料老人ホームに入所しているが、金銭的に疲弊している。
- ・グループホームに入所しているが、介護量の増加により退去をすすめられている。
- ・入所中の施設に不満があり生活の場を変えたい。
- ・独居で生活しているが、介護者(家族等)から見て限界を感じた。

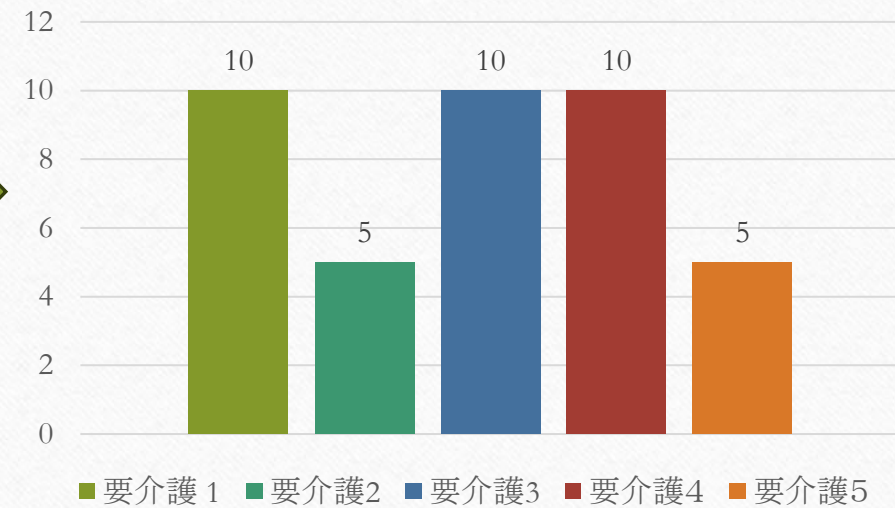
入所待機者の変動まとめ

H26年要介護度別申し込み状況
(84名、ユニット型のみ)



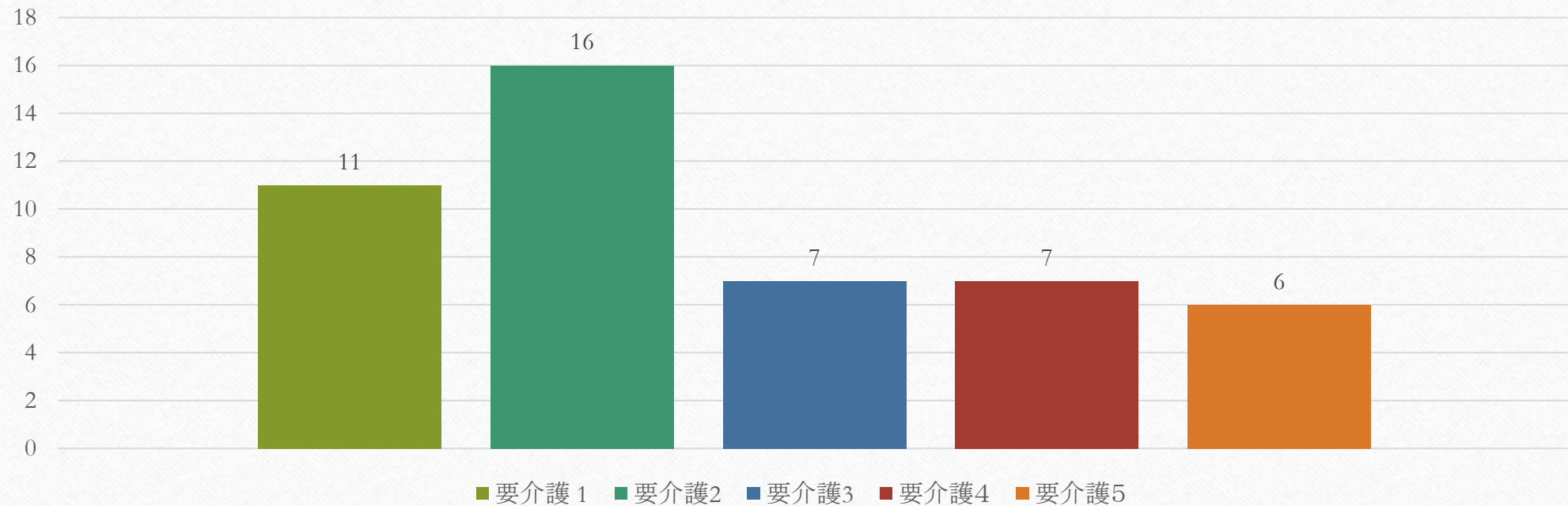
※H27年4月から要介護1、2の特養申し込みが制限される。

H31年要介護度別申し込み状況
(40名、地域密着のみ)



入所待機者の変動まとめ

R5要介護度別申し込み状況(47名、地域密着のみ)



介護施設の課題

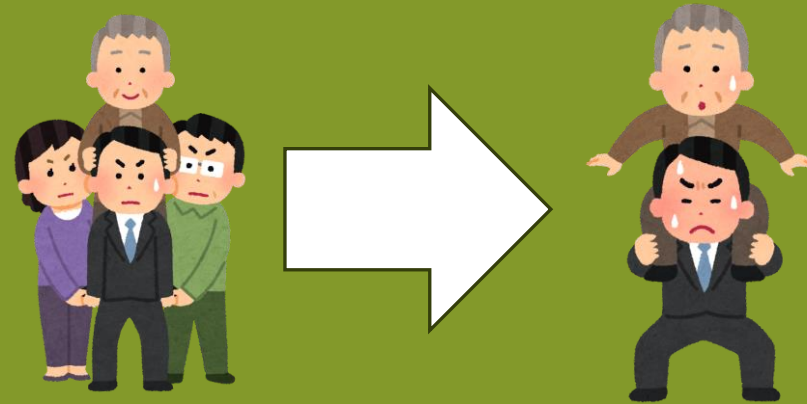


介護施設の課題

介護施設は複数の課題を抱えており、その中でも共通して上げられることが**人材不足**です。これは全国的にどの職種にも言えることですが、介護労働安定センターが調査したところ、事業所単位で65.3%が人手不足を感じ、特に訪問介護職員だけでは81.2%が人手不足を感じており深刻な問題となっています。その他の専門職でもケアマネは高齢化が進んでおり、令和3年調べでは平均年齢が53.3歳。更に恐ろしいことに30歳未満のケアマネは0.2%、30歳以上35歳未満のケアマネ0.4%、35歳以上40歳未満のケアマネは5.3%。若い人材どこ行ってしまった状態です。これらの課題の原因として、世間一般で言われている事とここ数年で感じた体験でご報告させていただきます。

原因1：少子高齢化

令和元年版高齢社会白書によると日本人口は1億26万人以上となっており、65歳以上の高齢者は人口の28.1%を占めています。この数値は今後も増加傾向にあると見込まれています。それに伴い、介護を受ける高齢者は増え、介護を担う若者は減っていく悪循環に陥っています。



原因2：労働環境の厳しさ

身体的・精神的に重労働。夜勤、変則勤務、残業の慢性化、ハラスメントを受けやすい環境、多職種が関わる複雑な人間関係。更に認知症の症状や医学的知識、人体知識なども必要となってくるため、知識や耐性が無いとストレスをためやすい職場環境となっています。ちなみに離職の理由で一番多いのは、「職場の人間関係」でした。





原因3：低い給与水準

令和2年度介護従事者処遇等調査結果によると介護職の推定平均年収は31万円。民間給与実態統計調査によると、日本人の平均年収は433万円とされています。決して高い水準とは言えません。しかし昨今、国の取り組みである「介護職員処遇改善加算」を算定することで幾分緩和されつつあります。更に国では更なる賃上げを考えているようなので、今後期待できる部分と言えます。しかし、この「介護職員処遇改善加算」は長く介護に従事することで、多くの手当てを貰えるというモノなので、新卒者や未経験者はもともと低い給与水準と辛い仕事に耐えきれず挫折し離職していくのが現状です。



原因4：社会的評価が低いイメージが定着している。現実には低い。

キツイ職場環境、低い給与などネガティブなイメージが定着しており、新卒者や未経験者は介護職に就くことに不安と感じ、新卒者に至っては就職を決める際に親が止めることもあるそうです。介護職は現代の3Kともいわれており、今ではその3Kをポジティブなスローガンに変えて「感謝を分かち合える仕事」「心がつながる仕事」「感謝できる仕事」と掲げポジティブなイメージを持ってもらう試みが行われているようです。しかし実体験すべて逆なことを受けることも多いのが現実です。



金を払っているのだから、やって当たり前だ。言われたことをやれ。昔はもっと働いた。だからもっと働け。



人材不足のまとめ

以上のことから、介護職は定着率が悪く、離職率が高いのが現状です。各施設も努力してあの手この手で人材確保を行っていると思いますが、1企業として解決できる可能性があるのは、2番目の労働環境くらいと思われます。少子高齢化は日本全体の問題、低い給与水準は介護保険を財源にしていることから限界があり、イメージ払しょくには時間がかかり、介護業界全体の力が必要です。そのため当園としても労働環境の改善に力を入れ取り組んでいますが、他の原因が解決しない状態ではあまり効果が見込めないのが現状です。今後良い方向に傾くことに期待するばかりとなっています。

ご清聴ありがとうございました。

令和 5 年度 第 4 回 地域密着型運営推進会議録

事業者名 住所	社会福祉法人 砂川福祉会 砂川市西3条南10丁目3番1号	
事業所名 住所 サービス種類	地域密着型特別養護老人ホーム福寿園（サテライト型）・在宅老人デイサービスセンター（地域密着型） 砂川市三砂町55番地6号 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護・地域密着型通所介護	
開催日時 開催場所	令和 5年12月20日 17:30～18:00 在宅老人デイサービスセンター	
出席者内訳	事業者： 小澤 敏博（施設長） 梶 信子（主任生活相談員）	北谷 将文（相談支援係長） 古館 輝一（相談支援主任）
	利用者・家族： 2名	
	地域代表： 0名（）	1名（元砂川地区広域消防組合消防長）
	市・包括職員： 1名（砂川市役所 高齢者支援係職員）	1名（地域包括支援センター）
	見識者・その他：	
議題・課題	1、地域密着型利用状況報告 2、施設活動報告 3、その他のご意見・ご要望等について	
報告事項	1、地域密着型利用状況報告（別紙参照） 2、施設活動報告（スライド参照） 3、その他のご意見・ご要望等について	
評価（感想等）		
要望、意見及び助言等	・質問 高齢者支援係職員： デイサービスの利用状況報告に関する質問です。新事業開始から通所リハビリを卒業されて要支援の方の受け入れ人数は想定していた人数ですか？それとも想定外の反応でしたか？ 主任生活相談員： 現在のところ、想定範囲内の人数利用となっています。しかし、卒業された方が全員が当園サービスに繋がる訳ではなく、様々な理由でサービス終了を迎える方もいました。 地域包括支援センター： 補足として、通所リハビリを卒業して在宅老人デイサービスセンターを利用しない方に関しては、2／3が別のデイサービス系サービスを利用、1／3の方がサービス終了を選択しています。 ・助言 地域包括支援センター： 活動報告のスライド報告にもあったように、要介護度の傾向の影響なのか、周辺施設の特養には空きが目立ち規模の縮小なども聞かれています。砂川市は特例要件を認めてくれ、福寿園さんは比較的要介護1.2の方でも受け入れてくれているため、助かっている。 施設長： スライドの報告にもありましたが、介護施設の人材不足はひっ迫している状態です。これに関して砂川市としての何か取り組み、対策等あればお聞きしたいのですが？ 高齢者支援係職員： 砂川市としては、介護初任者研修の取得に補助を出すなど取り組みは行っていますが、効果が出ているかと言われると返答に困る部分があります。その他にも何もしていない訳ではないが、本日の報告を上司とも共由して対策を検討していきたい。	
その他必要な事項		